

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『先読み！IT×ビジネス講座

ChatGPT 対話型 AI が生み出す

未来』 古川渉一、酒井麻里子著 インプレス

174頁 1400円(税別)

ChatGPT やいろいろな生成 AI が話題になっています。この生成 AI、ますます世の中で多く利用されるようになると思います。そうすると、好むと好まざるとにかかわらず、生成 AI によって作成された情報が私たちの目に触れる事になるでしょう。

今後のために、生成 AI について知っておいた方がいいのは間違いないでしょう。ということで、今回は本書を紹介することにしました。おもしろいところを少し紹介します。

★ChatGPT は、何か質問をすると、それに対して答えを返してくれる。「朝、起きるのが苦手なんだけど、早起きのコツを教えてください」と聞くと、答えは、「早起きのコツとしては、次のようなことがあります・・・」

答えは省略したが、結構きちっとした返事を返してくれる。さらに ChatGPT の凄いところは、1 往復で終わりではなくて、連続して会話ができる事。

★ChatGPT の優れているところは、連続した会話をスムーズに行えることと、生成される文章のクオリティーが高いことの2つ。例えば、AI を活用して企業の決算資料から決算速報のニュース記事を作成することもできる。

★事実か？

ChatGPT が生成する文書は、とても自然できれいにまとめられていることが多いが、その内容はただ必ずしも正しいとは限らない。ChatGPT は、既存のウェブ上のデータを学習し、確率に基づいて「それらしい回答」を出しているに過ぎ

ない。そのため、チャット GPT の内容を仕事などで使うときには、必ず内容が正しいかどうかのチェックをしなければならない。

★効果的な質問方法

- ・質問を重ねてより具体的にしていく
- ・前提となる「自分の立場」を明確に伝える。「社会人1年目の営業職ですが」など。
- ・追加質問で内容を掘り下げていく。
- ・「相手の役割」を指定して質問する。「コーチとして教えてください」など。

★機密情報を入れてはいけない

ChatGPT に入力された情報は、システムを改善するために利用される場合があるから。個人情報についても同じ。

★ChatGPT では、2022年初頭までにウェブ上に存在した情報をもとに学習している。だから、それ以降に新たに出てきたウェブ上の情報は学習していない。

★ビジネスの用途

- ・外注していた業務に AI を活用し、外注費削減
- ・SNS の運用や、ブログ記事の作成といった業務
- ・企画書や提案資料など、最初に AI でおおまかなものを作って手直しする形をとることで、ゼロから自分で作る場合に比べて生産性が向上する。
- ・長い説明から、短いキャッチコピーを作る
例えば「文章を生成、AI のビジネス活用の可能性について書いた本の宣伝に使う、未来に希望が持てるような日本語のキャッチコピーの候補を10本考えてください」など。
- ・企画を考える
「ChatGPT についてのビジネスパーソン向けの本を作っています。100万部を突破するための、面白い目次案を箇条書きで教えてください」
AI とうまく共存するには？
- ・AI が得意な事は、AI に任せる。

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

修行中の居眠り

車に乗っているときにラジオの聞き逃しを聞くことがあります。「NHK ラジオ」というアプリです。たまたま、兼好法師の徒然草のお話をしていました。おもしろかったのでご紹介します。(徒然草 第三十九段、現代語訳

<https://tsurezuregusa.com/039dan/>)

ある人が法然上人に尋ねました。「念仏を唱えているとき、睡魔におそわれ仏道修行をおろそかにしてしまうことがあるのですが、どうしたら、この問題を解決できるでしょうか？」

法然上人はなんと答えたでしょうか？あなたが法然上人だとしたらなんと答えるでしょうか？

「修業が足らん」と叱るでしょうか？

「そんな奴は降格だ、減給だ」というでしょうか？階級があったのか、給料があったのかは知りませんが。

さて、法然上人の答えはこうです。

「目が覚めているときに、念仏を唱えなさい」そして、徒然草は、「とつてもありがたいお言葉である」と続きます。

いかがですか？指導者としての法然は？

また、こんなものもあります。

「死後に天国に行けると思えば、きっと行けるだろうし、行けないと思えば無理だ」と言ったそう。これも、とつてもありがたいお言葉である。

なんか仕事に使えるじゃないでしょうか？

前の話は、一生懸命やっていたら細かいことはあまりがみがみしない方がいいのじゃないか

後の話は、できないと思えばできない、できないと思えばできることもできなくなってしまう

ということでしょうか。

ChatGPT：日経新聞

日経新聞 5/31 に ChatGPT の記事が載っていました。簡単にご紹介します。

2022年11月30日の公開からわずか2カ月で月間利用者数が世界で1億人に達した。1億人獲得には動画共有アプリ「TikTok」でも9カ月、写真共有アプリ「Instagram」でも28カ月かかっている。

米ゴールドマン・サックスによると、生成AIによって様々な仕事の生産性を高めることができる。30か国について試算したが、日本は、香港、イスラエルに次いで生産性を伸ばす余地が大きかった。

ChatGPTについては、次の数字が特徴的だ。

- ・7兆ドル：世界のGDP押し上げ効果、日本も生産性向上
- ・1597回：欧米企業の決算会見でのAIへの言及回数
- ・48%：米チェグが1日で失った時価総額
- ・18%：世界でAIが自動化しうる雇用の割合
- ・6%：日本からのアクセスが占める割合
- ・8割：日本の医師国家試験問題での正答率
- ・47%：生成AIはチャンスと捉える国内企業、脅威は9%
- ・158個：1～3月に公開された対話型AIアプリ、16倍に
- ・5億4000万ドル：オープンAIの昨年の赤字幅

いかがでしょうか？ChatGPT どう思われますか？日経があげた数字にはイメージがわきにくいものもありますが、経済的に大きな影響を及ぼしそうです。でも、身近にどんな影響があるのでしょうか？今後の動きを見ていこうと思います。